



医師



正しい心療内科を知っていますか？

心療内科部長 芦原 睦

当院では、1990年から心療内科の外来を開始していますが、当時珍しかった「心療内科」という看板を最近、街でよく見かけるようになったとは思いませんか？

それは1996年に厚生労働省により院外標榜科として「心療内科」が認められ、自由標榜(医師なら誰でも標榜可能)が可能な制度に改められたことで、一般内科医や精神科医が自由に看板を挙げているからです。

当院では、心療内科以外に「神経内科」や「精神科」も存在するため、ことさら「正しい心療内科」にこだわって診療をしてきました。

それでは、日本心療内科学会が認める「日本心療内科学会専門医」とはどんな資格でしょうか？(この資格を有している医師は、現在日本に120人しかおりませんので、新潟県のトキヤパンダのような絶滅危惧種として心配されています。)

心療内科専門医とは、日本内科学会認定内科医又は総合内科専門医を有し、かつ、一定の研修と試験を受け合格した者にだけ与えられる資格です。よって、心療内科専門医は普通に聴診器を使う内科医なのです。みなさんの周りの方で「心療内科」に通院しているけど、一度も聴診器をあてられたことがないというお話を聞いたことはありませんか？

その場合、診察を省略している場合を除いて、原則的に身体的診察をしない精神科医が担当している可能性が高いと思われます。

一方、精神科医は精神保健指定医などの高度な資格を有しており、患者さんに医療保護

入院などができます。この強制力を持った入院処置などは心療内科医にはできません。

さて、当院の心療内科にはどのような症状や訴えの方が受診されているのでしょうか？

この1年間に受診された新規患者さん150名の主訴(主たる訴え)を第10位まで調査しました。

第1位は「不眠」が圧倒的でした。第2位「痛み」は、全身・背部・腰の痛みなどで、頭痛と腹痛は入っていません。第4位「不安」は、精神症状ではトップでした。第5位「動悸」は、不安の部分症状かもしれません。第6位「腹痛」は、おそらく消化器内科で異常なしと言われた症例かと思われます。第11位以降は、「気分の落ち込み」、「食欲不振」、「意欲低下」などが続きます。

決して、精神的な不調の方が受診していないということがお分かりいただけただしょうか？痛み系が多いのは、私が「リウマチ専門医」も持っているからでしょう。

以上より、“原因がわからないといわれた身体的不調のある方”の受診を特にお勧めします。

順位	主訴	延べ人数
第1位	不眠	50名
第2位	痛み	39名
第3位	頭痛	24名
第4位	不安	22名
第5位	動悸	17名
第6位	腹痛	16名
第7位	倦怠感	15名
第8位	嘔気(吐き気)	14名
第8位	めまい	14名
第8位	息苦しさ	14名